

平成28年度 大阪府立むらの高等支援学校 第一回 学校協議会記録

日 時：平成28年7月6日（水）15：30～17：00

司 会：教頭

出席者：学校協議会委員（6名）

大阪人間科学大学（特任教授）大阪府立北大阪高等職業技術専門学校（副校長）

大阪知的障害雇用促進建物サービス事業協同組合（事務局次長）

北河内西障害者就業・生活支援センター（主任就労支援ワーカー）

枚方市村野区（区長代理）本校PTA（会長）

学校長 事務局（10名）

1 資料の確認および次第説明（教頭）

2 校長挨拶

開校2年目となり今年度より枚方支援と分離し、本校単独の実施となった。
今年度の取り組みに対して、忌憚のないご意見をよろしくお願ひしたい。

3 委員紹介、委嘱状交付（教頭）

4 事務局員紹介（教頭）

5 学校協議会設置要項・学校協議会運営計画について説明（教頭）

委員の中より会長を選出。拍手を持って大阪人間科学大学（特任教授）を承認した。
会長より、職務代理者の選出の要請があり、大阪府立北大阪高等職業技術専門学校（副校長）を承認した。

6 報告

① 平成27年度学校経営計画評価および平成28年度学校経営計画について（校長）

中期的目標の4項目を柱として3年計画で経営を進めたい。

平成27年度の3項目のように、平成28年度は中期的目標に障がい者差別解消法の施行年を受け「生徒本人を中心に据えた『支援と指導』体制の整備」を加えた。生徒に主体性を持たせたい。

「経営推進費」でカフェの設備増強の費用を取得したので、カフェを外部に向けてオープンするなど、地域とのつながりを推し進めていきたい。（校長）

② 平成28年度授業時間割・教育課程について（管理部長）

昨年度の「基礎事務」「基礎作業」を統合して「流通サービス」とし、「キャリアデザイン」を新設した。

4つのパターンで動く、3クラス4展開の方式を導入した。

また、国語・数学はHRクラス運用ではなく、到達度別の学習集団で学年ごとに同時間帯に学ぶことに改めた。

- ③ 特色ある取組「MURANO キャリアプラン」について（首席）
 キャリアプランのイメージ図・現在の取り組み（授業と行事をつなげる）・プランの今後について説明を行った。
- ④ 学校評価（授業参観アンケート①）集計結果について（支援部長）
 2年生の保護者から「子どもの成長が見られた」「授業のねらいがわかってきた」と建設的な意見が多かった。
 提案としては、具体的な支援のてだて、配慮がほしい、という意見があった。
 アンケートの結果は、教員全員で回覧した。
 今後も参観時はアンケートをとり、より良い授業づくりに研鑽していきたい。
 他、教員研修として、外部講師による「チームティーチング」や内部講師による「生徒の事例検討会」を実施した。
- ⑤ 平成28年度使用教科書紹介および平成29年度使用教科書選定状況について（管理部長）
 決定までの流れは、教科で打ち合わせを行った上で一覧表を作り、会議にかけて検討し、決定したものを教育庁に提出する。
 選定にあたっては、各教科とも議論を重ねた。

7 協議

会長：3年間のうちに社会にできる意識を育てて地域・社会とつながっていくことは大切である。

「MURANO キャリアプラン」を念頭に置きながら、意見を出していただきたい。

A委員：就労支援を行っている機関である。

学校は教育と就労支援との両立が難しいと感じた。

働くために一つの技術を習得すると、他の職種をこなすことが可能になる場合が多い。

指導する側は、社会の流れや新技術を絶えず求めるなどの高い専門性を持ってほしい。

B委員：職業訓練をメインに行っている機関である。

学校での実習は、生徒と実習先をどのようにマッチングしているのかが気になる。

C委員：学校卒業後の定着支援を行うことになる機関である。

職場での人間関係がその大きな原因となるため、在学中にコミュニケーション力を高めると共に就職後も地域の機関とつながっておくことが大切。

D委員：通学時の交通事情の悪さを懸念したが、学校関係者の努力もあり、今のところ問題なく安心している。

しかし学校内での活動が外部から見えにくいので、早くカフェをオープンして地域に開放してもらいたい。地域にアピールするツールになると思う。地域は兼業農家も多い。生徒の農業体験などの援助は可能である。

- E委員：「MURANO キャリアプラン」の「就労による社会自立」に向かって、家庭でも出来ることがたくさんあるように思った。援助できることは、学校と協力して教育していきたい。
高校生活は、3年間しかないので、指導の際はそれぞれの子どもにとって分かりやすい方法でのアプローチの工夫をお願いしたい。
学校には期待している。
- 会長：生徒本人を中心にした、自己決定・自己選択は重要である。
平成28年度学校経営計画の中期的目標の2「生徒本人を中心に据えた体制の整備」は具体的な取り組みをぜひ報告してほしい。
「MURANO キャリアプラン」のコンセプト・着眼点は面白いが、教育の中でどう生徒を育み就労につなげていくのか、よりよく生きていくためにどういう力をつけるのか、生活力・人とつながる力などを重視し、整理していく必要がある。
そのためには、キャリアプランのステージ表が必要ではないか。
教科の中での詳細事項があるほうが、テーマを絞りやすいのではないか。
授業アンケートでは、改善項目などカテゴリーの分類を行ったほうがよい。
- A委員：学校が頑張っているので、負けてられない。
- B委員：企業側は、素直でコミュニケーションのとれる子を採用したがる。
挨拶をしっかり行い、素直でコミュニケーションのとれる生徒を育ててほしい。
- C委員：何故働くのか、働く理由を考えて指導してほしい。
- D委員：資料がたくさんあり、驚いた。
在学中の3年間で得意なことをそれぞれの生徒が見つけ、取り組んでほしい。
- E委員：協議会に参加して、自身も勉強になった。

8 校長挨拶

本校のめざす「つながる」ということに教員全員が同じ方向を向き始めたところだと感じる。

本日いただいたご意見を全教員に聞かせたかったと思う。

貴重なご意見をいただき、感謝している。

9事務局より（教頭）

本日の記録については各委員の方に確認していただいた後、学校のHPに掲載する。

次回、第2回は11月21日（月）14時から16時の予定。

内容は、1年生職業の授業参観、協議は学校教育自己診断について、学校教育計画やキャリアプランの進捗状況について、などの予定。

10閉会（教頭）